

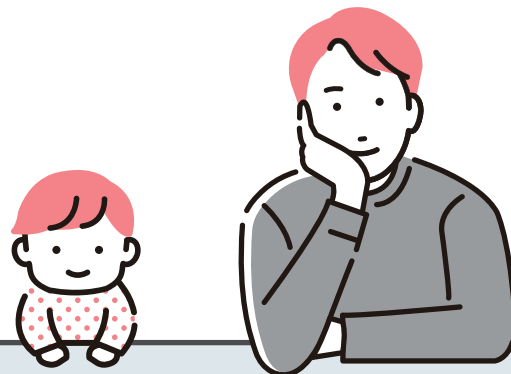
# 父親を取り巻く環境と父親支援のあり方

令和5年

2月14日(火)

14:00~16:30(予定)

オンライン・シンポジウム (Zoom)



## 対象

父親支援や父親の健康、  
ワークライフバランスに関心のある方

(自治体の母子保健・子育て支援・少子化対策などの担当者、父親や子育て支援に関心のある専門家・研究者、企業の人事担当者、育児に取り組んでいる・取り組もうとしているパパ・ママなど)

## 参加申込

参加費無料(要事前申込)

●申込締切: 2月8日

下記URL または QRコードより  
お申し込みください。

<https://forms.gle/swNHxEG4qGzCgXKL8>

研究班として ①父親支援に関するエビデンス創出、②自治体の実態把握・好事例調査、③諸外国の実態に関する調査、④介入モデルの探索的検討、⑤父親の支援ニーズの把握、の5つに取り組んでいます。シンポジウムでは、その中から以下のプログラムで研究成果をもとに、外部から父親支援事業を実施しておられる自治体関係者や専門家をお招きして議論を深めていきます。

## [第1部] 父親支援の意義やそのニーズについて

座長: 国立成育医療研究センター 社会医学研究部 室長・加藤承彦

父親支援がなぜ必要なのか、その意義やニーズについて、エビデンスや父親の声をもとに考える。

## [第2部] 父親支援を行う際のポイントと好事例

座長: 大阪教育大学 教育学研究科 教授・小崎恭弘

どんな方法で、こういった内容の父親支援を実施することができるのか、その実施方法やそのポイントについて議論し、今後の全国各地での父親支援の実施・推進につなげる。

## 各課題成果動画 1月中旬公開予定

[https://www.ncchd.go.jp/scholar/research/section/policy/project/01\\_seika.html](https://www.ncchd.go.jp/scholar/research/section/policy/project/01_seika.html)

研究成果について、PDF または音声付きパワーポイント動画をご視聴いただけます。

本シンポジウムでは、こちらでご覧いただける研究成果を基に、一歩踏み込んだ内容の講演とゲストを交えてのディスカッションが行われます。